

KYOTO OPEN  
YEAR FINAL

異なる視点を活かすこれからの経営

# 文化的視点から考える グローバル化と

ウスビ・サコ氏 Oussouby SACKO

# 中小企業

中小企業経営は、単なる技術革新や市場拡大だけではなく、異なる文化や価値観を取り入れることが重要な時代に入っています。今回は京都精華大学前学長であり、世界中の識者と交流を重ねてきたウスビ・サコ氏を迎え、文化の多様性が企業経営に与える影響や、グローバル化の中の成功戦略について考えます。

文化厚生委員会が設営する2024年最後の京都オープン例会で、中小企業が持続的に成長するための新しい経営モデルを探りましょう。



イチニイ・イチロク・ウスビ・サコ

12/16

イチニイ・イチロク・ウスビ・サコ

18:30-21:00

📶 サテライト

宮津市福祉教育総合プラザ  
第2コミュニティルーム

📍 リアル

ラポール京都

(阪急・京福「西院」駅下車すぐ)

※いずれも入場無料

京都精華大学前学長  
同大情報館長  
同大人間環境デザインプログラム  
(建築学科教授)  
2025年日本国際博覧会協会副会長  
理事・シニアアドバイザー兼任他  
京都大学大学院工学研究科  
建築学専攻博士課程修了  
マリ共和国出身

主催

一般社団法人 京都中小企業家同友会  
文化厚生委員会

☎075-354-5007

ゲスト・非経営者・大学生の参加も歓迎です。  
同友会会員の方はe-doyuからお申し込みください。



所在地/京都府宮津市宇浜町3012番地

